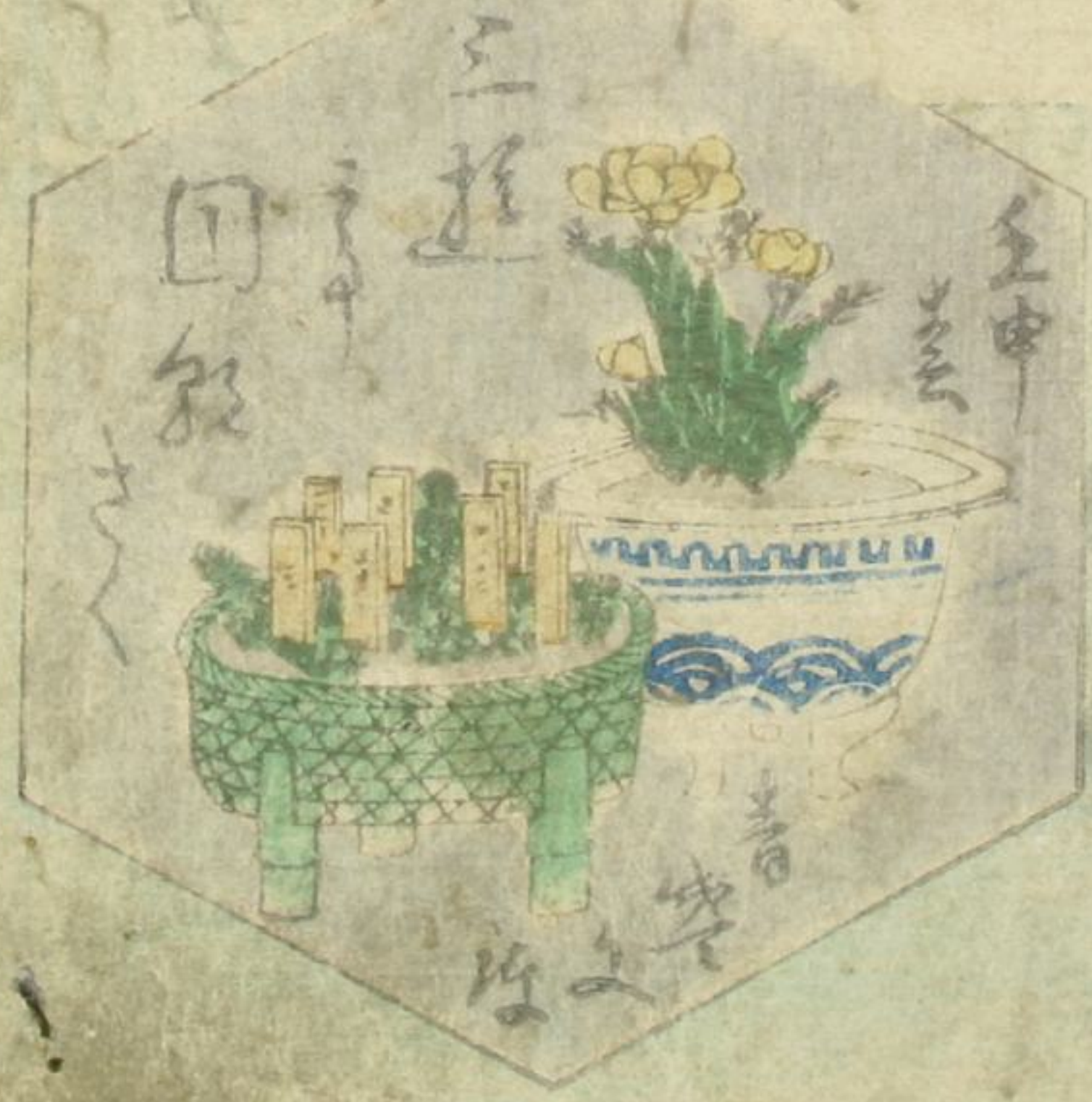


今朝  
 朝去  
 今  
 組  
 盃  
 武  
 編  
 山  
 之  
 青  
 了  
 有  
 人  
 組  
 嘉  
 高  
 其  
 燕  
 玉







A 404  
2

48-7590







令朝春三組杯貳編上

山二亭有人補綴  
錦朝樓芳虎画  
三遊亭圓朝作話



明治五壬申春

青盛堂梓

如星



僕一日他招き國網の刀一筋切船人との三題を速が克り  
附會一が其笛竹乃節もなぐ一夜限ある棄小舟と思ひ  
の外お愛玩を得扇拍子と臚拍子小例の鐵面皮であ  
切しと上下一編師入著て視よるの更なりしが夫は面楯の  
重荷をた看官の機嫌と取柄及びもぬを身は常住のそ結  
俵そんと沖越し大先生にと辞したるを去年もらうつと  
四山乗合さし山く亭。庁道校汀を手傳やんと云きてくつ  
大船小乗地で古刀ゆゆる。彼國網も附焼刃唯本職の  
漆削か便莫遮書房ハ笛の音の利や非やと浮雲の形

壬申春  
三遊亭圓朝記

三組五二





○ 稲垣 小三郎



○ 小三郎云号音羽  
後小丁子屋の遊女  
音羽太夫





このまゝに  
 かくし  
 かくし  
 かくし

ERG  
 かくし  
 かくし  
 かくし

このまゝに  
 かくし  
 かくし  
 かくし

このまゝに  
 かくし  
 かくし  
 かくし

このまゝに  
 かくし  
 かくし  
 かくし



このまゝに  
 かくし  
 かくし  
 かくし

このまゝに  
 かくし  
 かくし  
 かくし

このまゝに  
 かくし  
 かくし  
 かくし

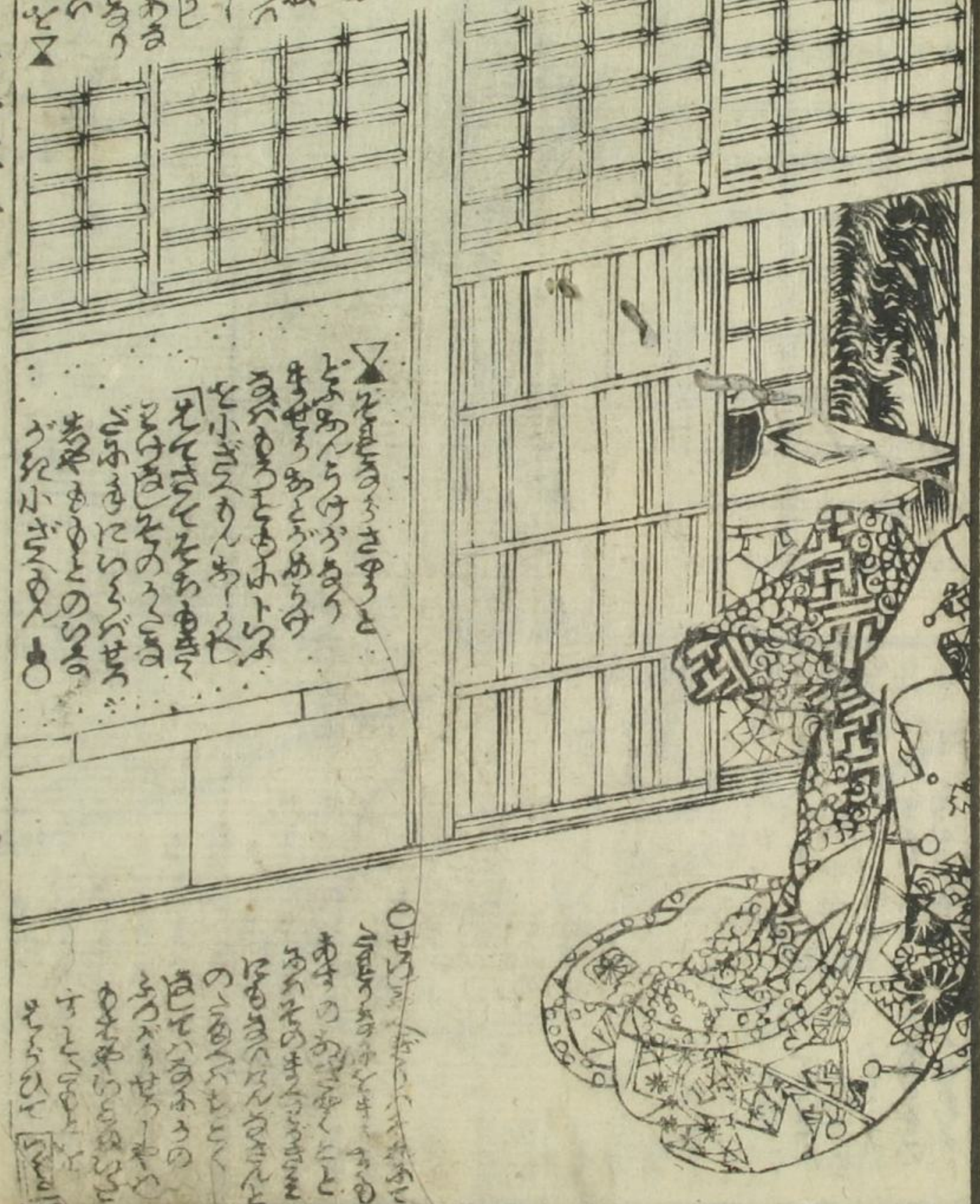


Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a Japanese text, located at the top of the right page.



あまの  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a Japanese text, located at the top of the left page.



あまの  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あまの  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた



















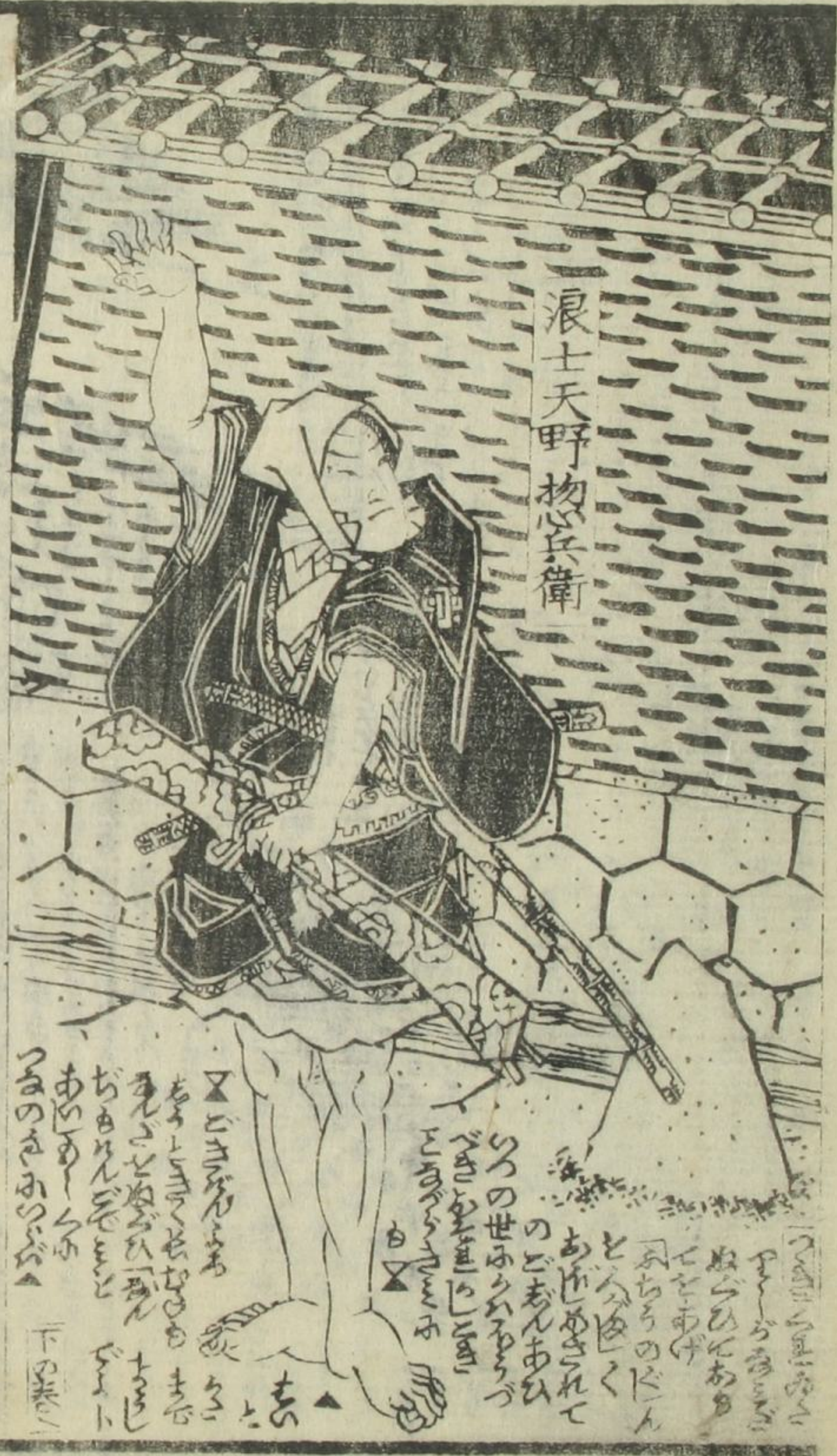








圓朝作話 有人補綴 芳虎画圖



松飾徳若譚

五編 六編 七編

假名垣魯文作 孟 斎 芳 虎 画

今朝春三組盃

初編 二編 三編

山々亭 有人補綴 三遊亭 田朝作話 錦朝樓 芳虎画圖

いふは節要

初編 十編

山々亭 有人作 歌川周重 画

繪本太豊記

初編 二編 三編

孟齋 芳虎 画 作

地本問屋 兩國廣小路 加賀屋吉兵衛 板





1. 吉

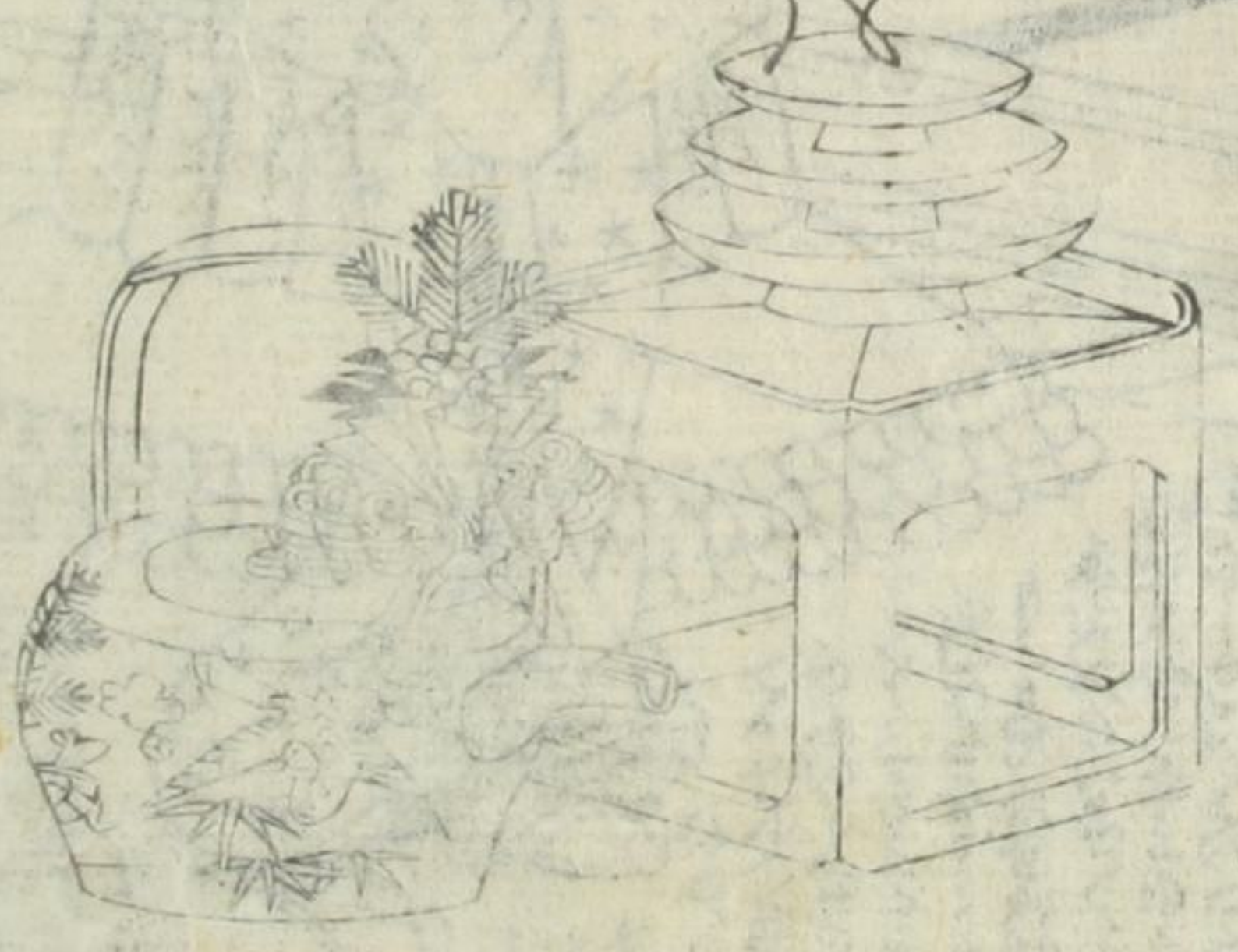
the sunflower

the sun

the sun

the sun

the sun















三十四



三十五









大福入

金銀出入

大福入  
金銀出入



三四四二

大福入  
金銀出入

大福入  
金銀出入























有人補綴  
圓朝作話  
芳虎畫圖



增補西國奇談 廿編 為永春

得緑娘白浪 九編 假名垣魚

田川月と梅若 五編 柳亭種  
六編 山亭有  
孟春芳

の海い白うりた

010190518820



